

令和2年8月6日
市役所3階委員会室

第8回 美祢市新本庁舎整備アドバイザー会議 次第

- 1 開会あいさつ
- 2 報告
 - (1) 新本庁舎整備に当たっての方針修正指示について
 - (2) 新本庁舎整備における事業費圧縮検討について
 - (3) 変更スケジュールについて
- 3 協議事項
 - (1) 設計コンセプトについて
 - (2) 検討(案)について
 - (3) 今後の本アドバイザー会議開催について
- 4 その他
 - ・ 次回 第9回アドバイザー会議
- 5 閉会

資料

- ・ 報告1 新本庁舎整備に当たっての方針修正指示項目
- ・ 報告2 新本庁舎整備における事業費圧縮検討項目
- ・ 資料1 変更全体スケジュール (A-114)
- ・ 資料2 設計コンセプト (A-115)
- ・ 資料3 建替計画図 (A-116)
- ・ 資料4 平面図 (A-124)

新本庁舎整備に当たっての方針修正指示項目

- 1 数年後の美祢市の人口規模、職員数を念頭に置き新庁舎を計画する。
- 2 事業費の圧縮を第一とし、新築部分は32.6億から20億円程度に削減する。
- 3 社会福祉協議会の敷地内複合化は行わない。
- 4 事業費が圧縮できる構造を選択し、免震構造等の手法種類は問わない。
- 5 使用可能な建物は出来るだけ利用する。(執務室分散は仕方ない)

新本庁舎整備における事業費圧縮検討項目

1 面積削減

- ・ 新本庁舎の延床面積を6,800㎡から4,500㎡程度まで圧縮する。
- ・ 分散している執務室は第二・三別館を除きそのままに留める。
- ・ 社会福祉協議会の複合化は行わない。
- ・ 書庫・倉庫は最低限必要な面積にとどめる。
- ・ 会議室面積は必要最低限とする。
- ・ 議会部門、特別職部門においても聖域は作らない。
- ・ 市民に係るスペースにおいても聖域化しない

2 構造種別変更

- ・ 免震構造を耐震構造変更することを検討

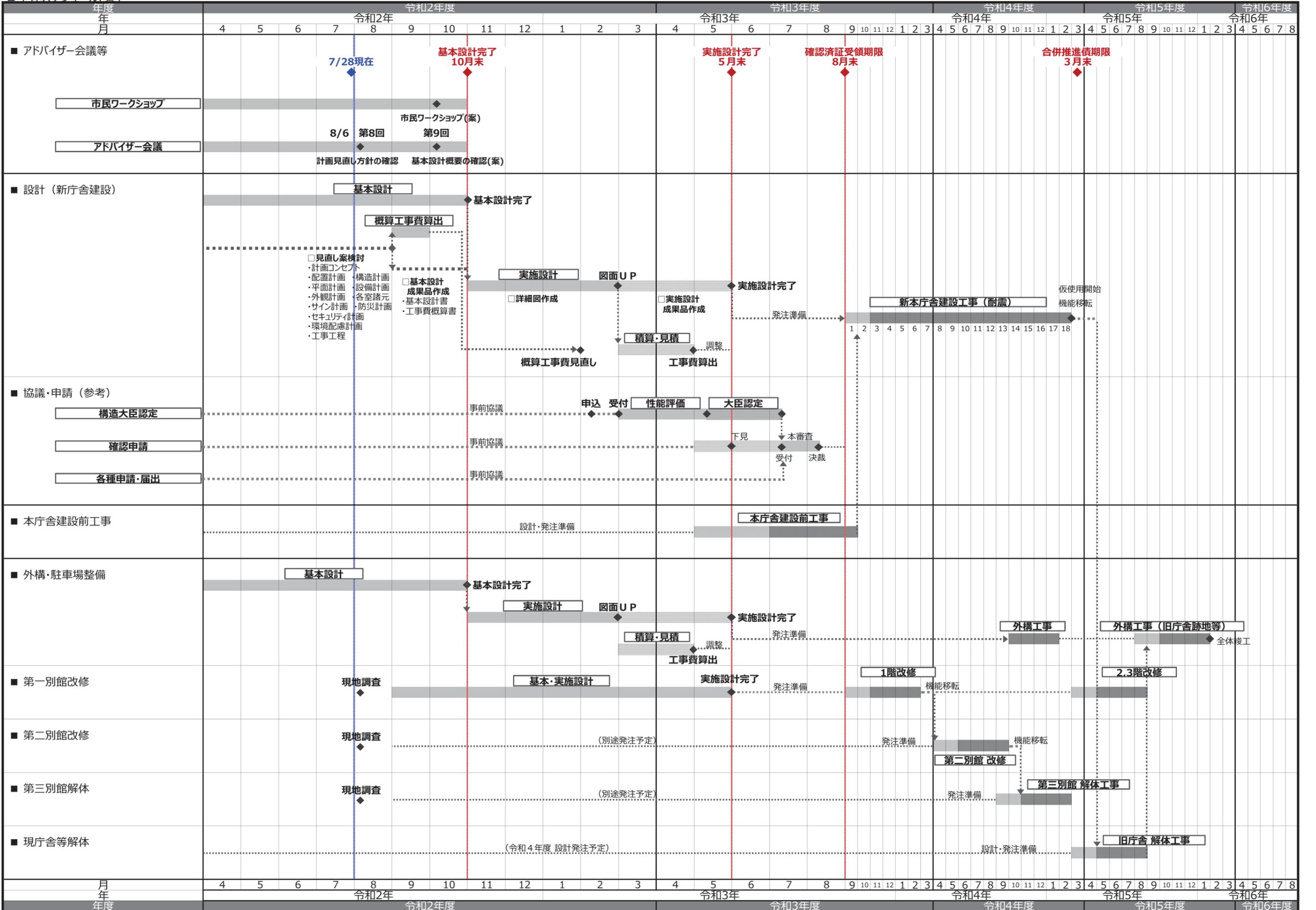
3 構造種別の変更

- ・ RC造+S造の見直しを行い、全てS造にした場合との比較を行う。

4 基本的な考え方の変更

- ・ 平面計画を極力単純化することを検討する。
- ・ 第一別館の改修は最小限にとどめる。
- ・ 外構工事についても最低限の範囲にとどめる。
- ・ 旧耐震ではあるが、第二別館の解体を行わずに、書庫・倉庫として今後数年間は供用する。

■全体スケジュール(案)



1. 敷地環境特性を活かした配置計画

北と東の庁舎出入口から東西、南北に視線が抜ける庁舎配置とします。敷地西側にまとまった空地を確保し、日常的には駐車場として、イベント時には大きな広場空間として多目的に利用可能な計画とします。新本庁舎は、継続使用する第一別館との連続性を確保する計画とし、現本庁舎との離隔をとりながら桜並木・さくら公園側へ開けた庁舎配置とすることで、当面活用される市民会館の国道側からの視認性・正面性を確保する計画とします。



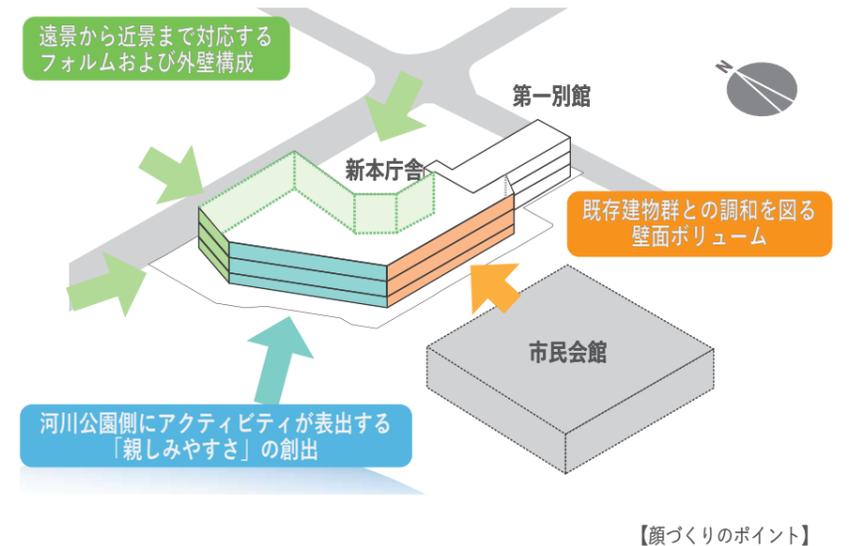
2. 街と庁舎をゆるやかに繋ぐ「美祢モール」

計画地内を北西～南東に通る歩行者空間「美祢モール」を設けます。「美祢モール」は、庁舎ロビーに沿って連なる広場や遊歩道と車道が一体となった空間であり、街と庁舎、人と交通（モビリティ）をゆるやかに繋ぎます。「美祢モール」により庁舎アクセスの利便性が高まると同時に、モールに沿って多様な環境が繋がることで、敷地内外に回遊性の向上や人々の交流・賑わいが生まれます。



3. 裏のない建物づくり

外観構成として国道や市道、河川公園や市民会館など、敷地内外のあらゆる方向に対して顔づくりを行い、裏をつくらぬ構成とします。



4. ウィズコロナ時代の縮充型庁舎

超高齢化、少子化の加速に加え、ウィズコロナ時代の到来により、約30%の規模縮小が掲げられました。これに対し、コンパクトで機能的かつ、来庁者・職員の双方にとって安心して快適に利用できる充実した環境を備えた「縮充型庁舎」を計画方針として掲げました。

① 低層コンパクト庁舎

約5,000㎡の庁舎規模への見直しという条件に対し、市民サービスの充実と面積縮小を両立させるべく、接地性を最大限に確保した3階建てとします。各フロア機能における共用効率を高め、コンパクト化を図ります。また3層構成とすることで、周辺環境への圧迫感の軽減を図れるほか、上下移動のしやすさや第一別館との一体性の向上など、より機能的で使いやすい庁舎を目指します。

② フレキシブルで快適なワークスペースの確保

高層棟を回避することで、スパン構成の自由度が向上したことにより、均等ロングスパン範囲を拡充します。これにより、執務エリアの実質的有効比の向上を図ります。

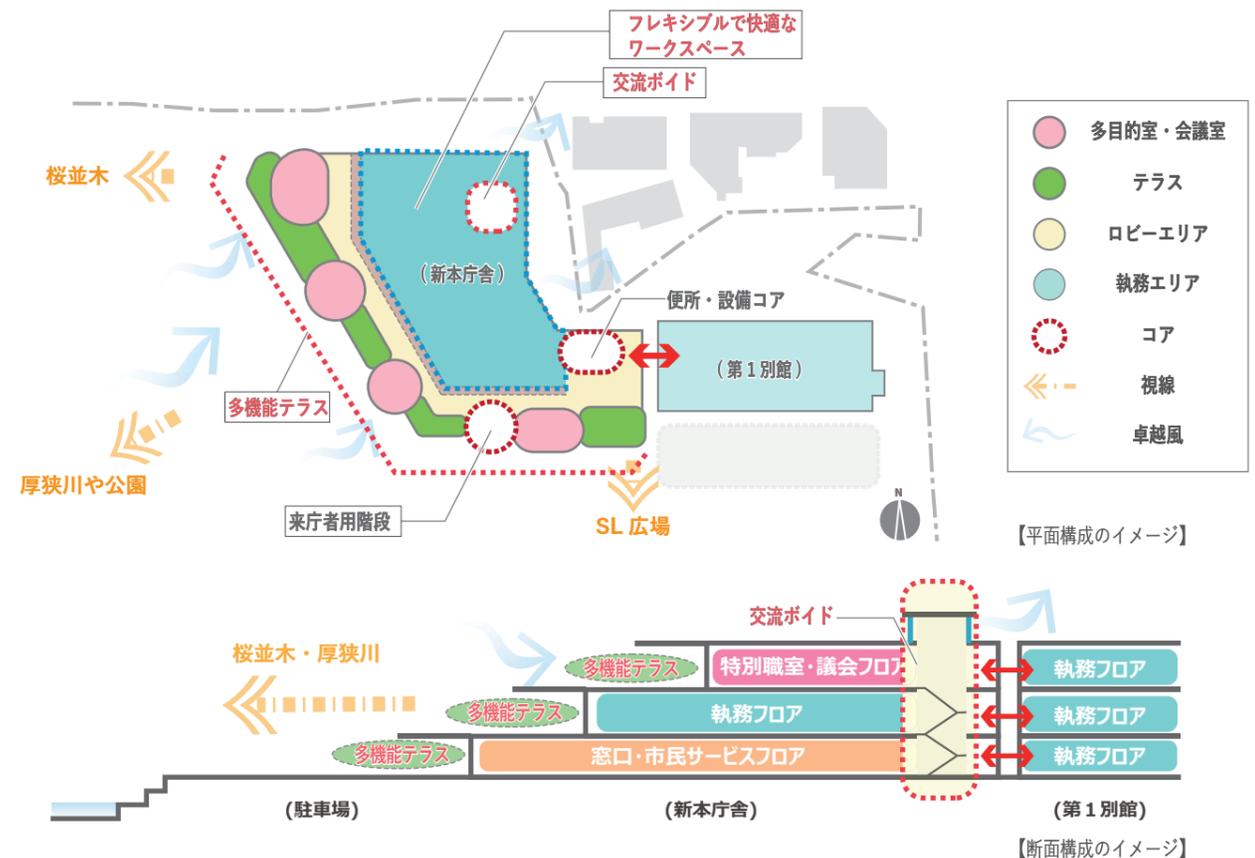
③ 安心・安全の居場所づくり

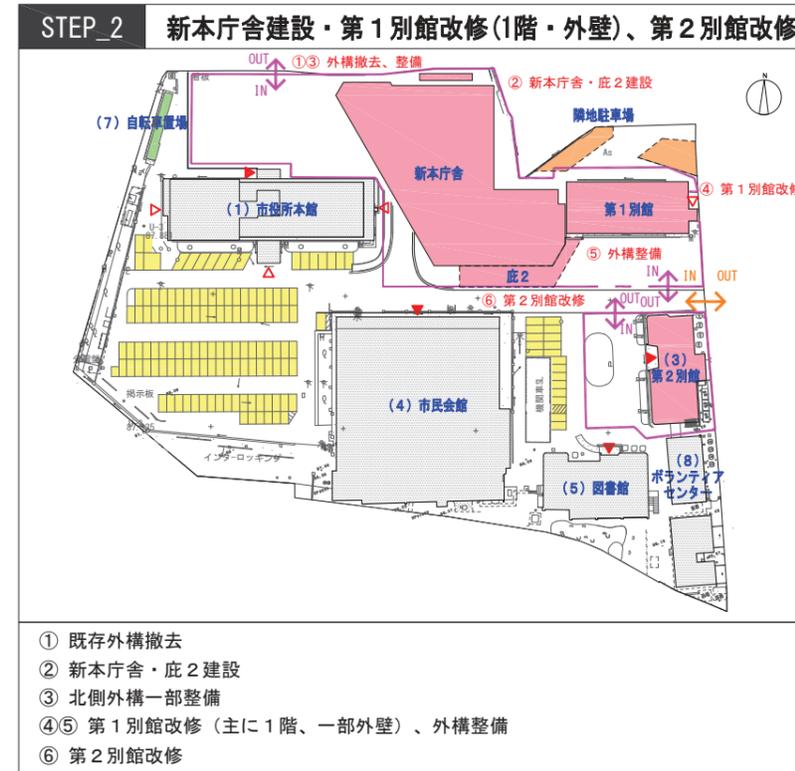
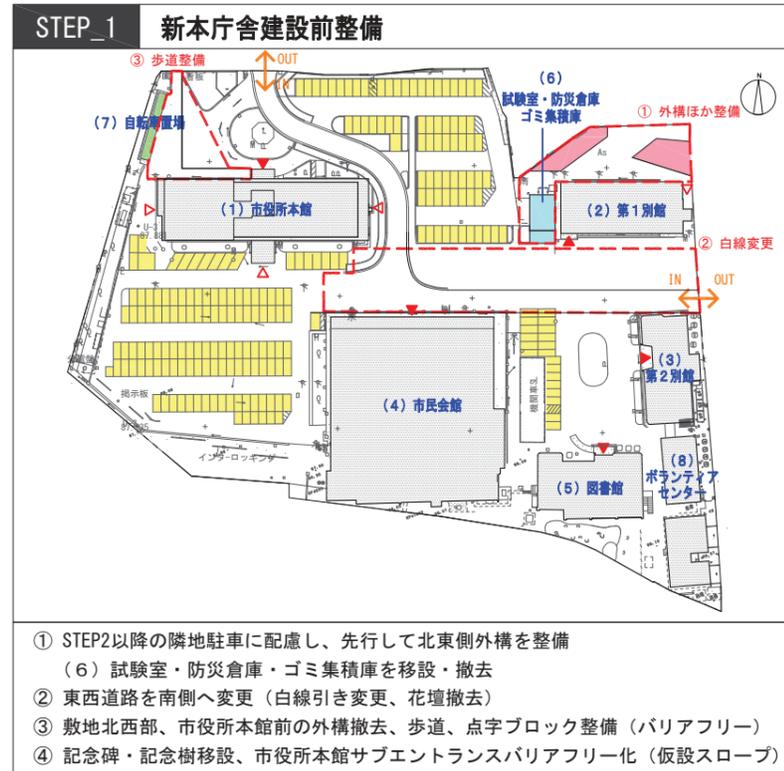
多機能テラス

ウィズコロナ時代における多様な働き方や交流の在り方を誘発する共用空間として設えます。

交流ポイド

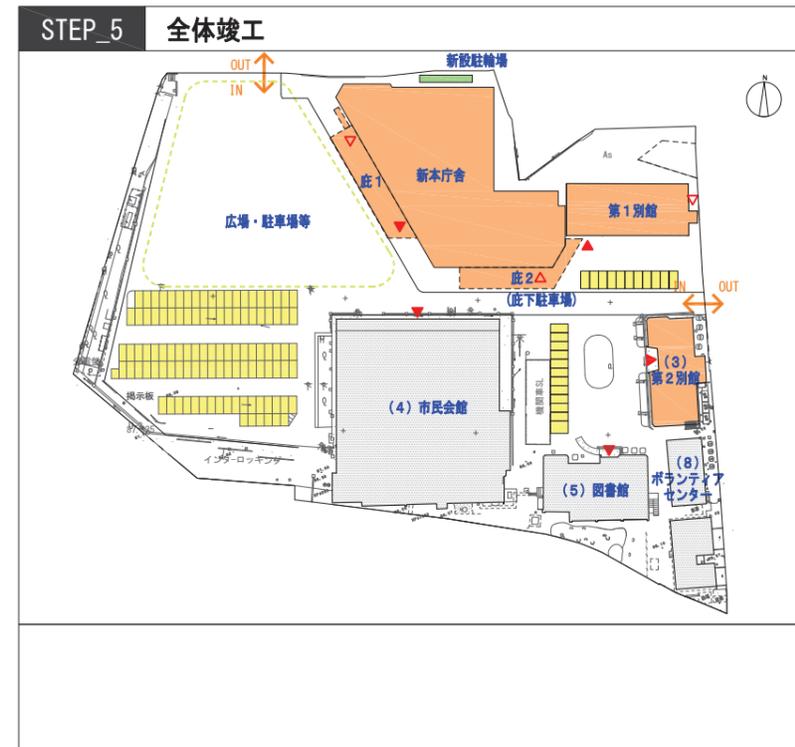
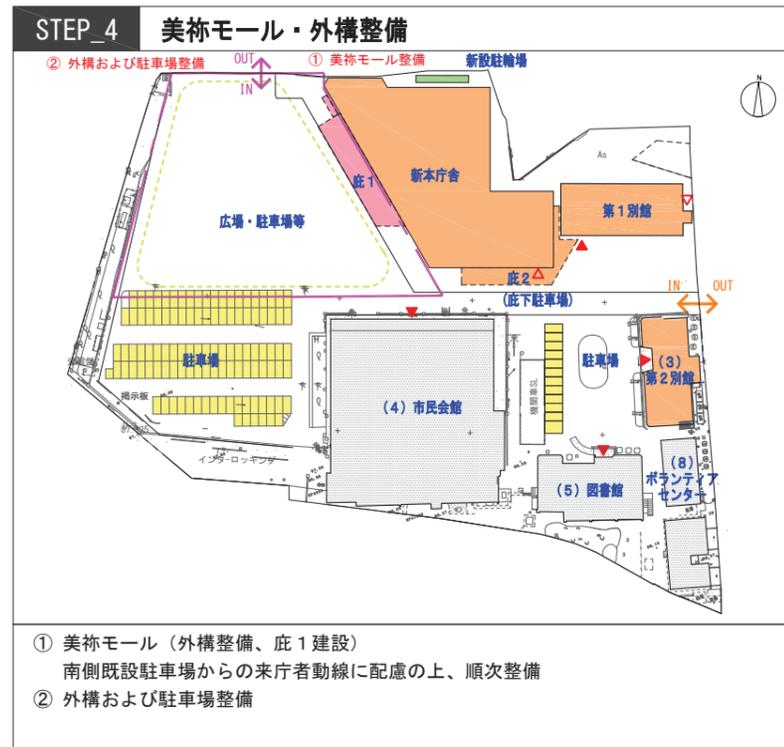
階段、換気装置機能を持つコンパクトな吹き抜け空間を執務室内に設け、利用者の安心と安全に配慮します。





凡例

■	新築・改修建物
■	解体建物
■	既存建物
■	完成建物
---	先行工事範囲
■	駐車場
■	駐輪場
←	工事車両動線
←	来庁者・職員車両動線
▶	メインエントランス
▶	サブエントランス
—	仮囲い
—	インフラ
---	下水本管



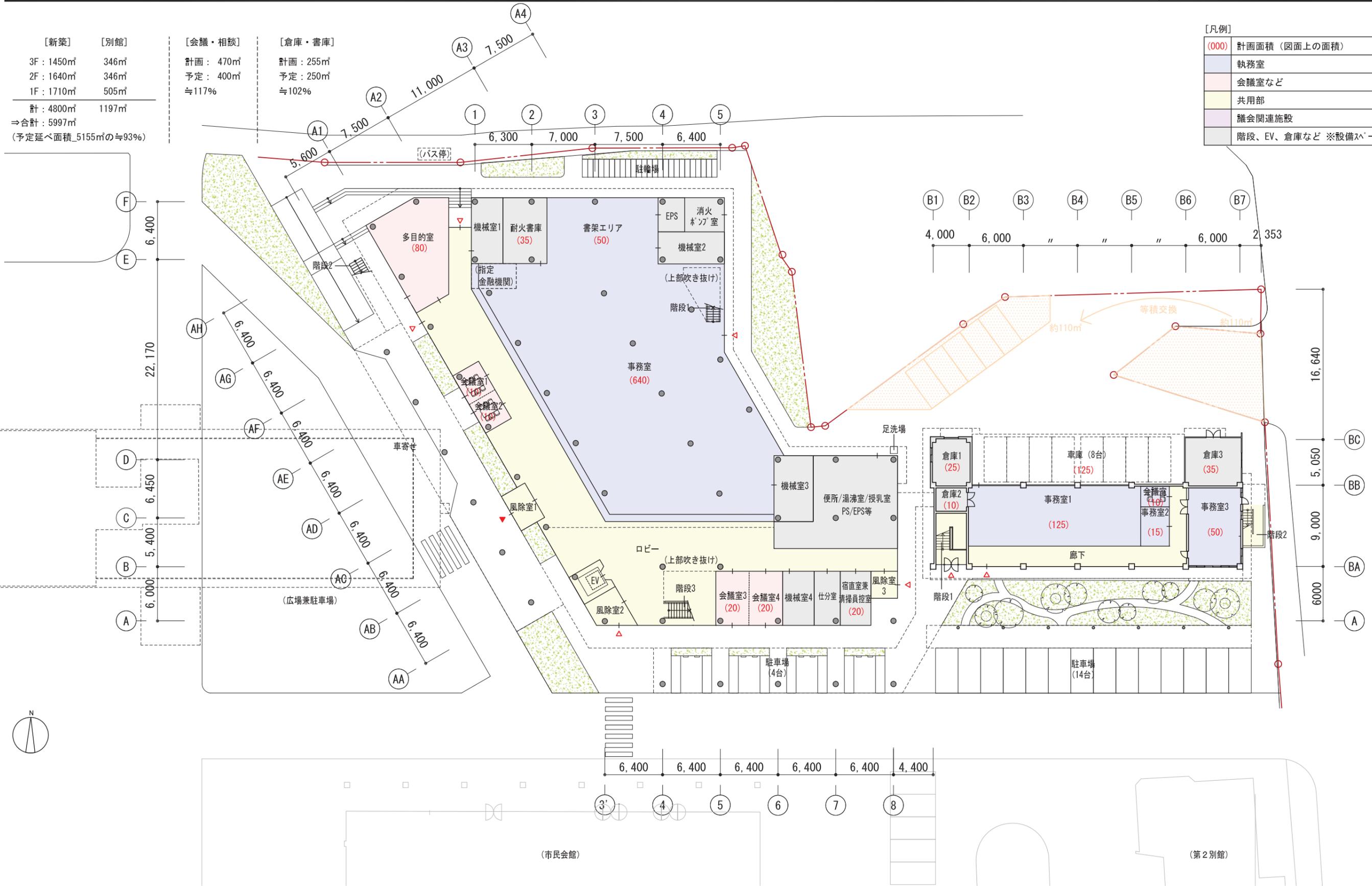
年度	令和3年度												令和4年度												令和5年度															
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
STEP	準備			STEP_1					STEP_2 (第1別館1階改修)					引越		STEP_2 (第2別館改修)					引越		STEP_2 (新庁舎18か月)					引越			STEP_3					STEP_4				

※地質調査、既存アスベスト状況、および既存杭の状況などにより調整の可能性あり

[新築]	[別館]	[会議・相談]	[倉庫・書庫]
3F: 1450㎡	346㎡	計画: 470㎡	計画: 255㎡
2F: 1640㎡	346㎡	予定: 400㎡	予定: 250㎡
1F: 1710㎡	505㎡	≒117%	≒102%
計: 4800㎡	1197㎡		
⇒合計: 5997㎡ (予定延べ面積_5155㎡の≒93%)			

[凡例]

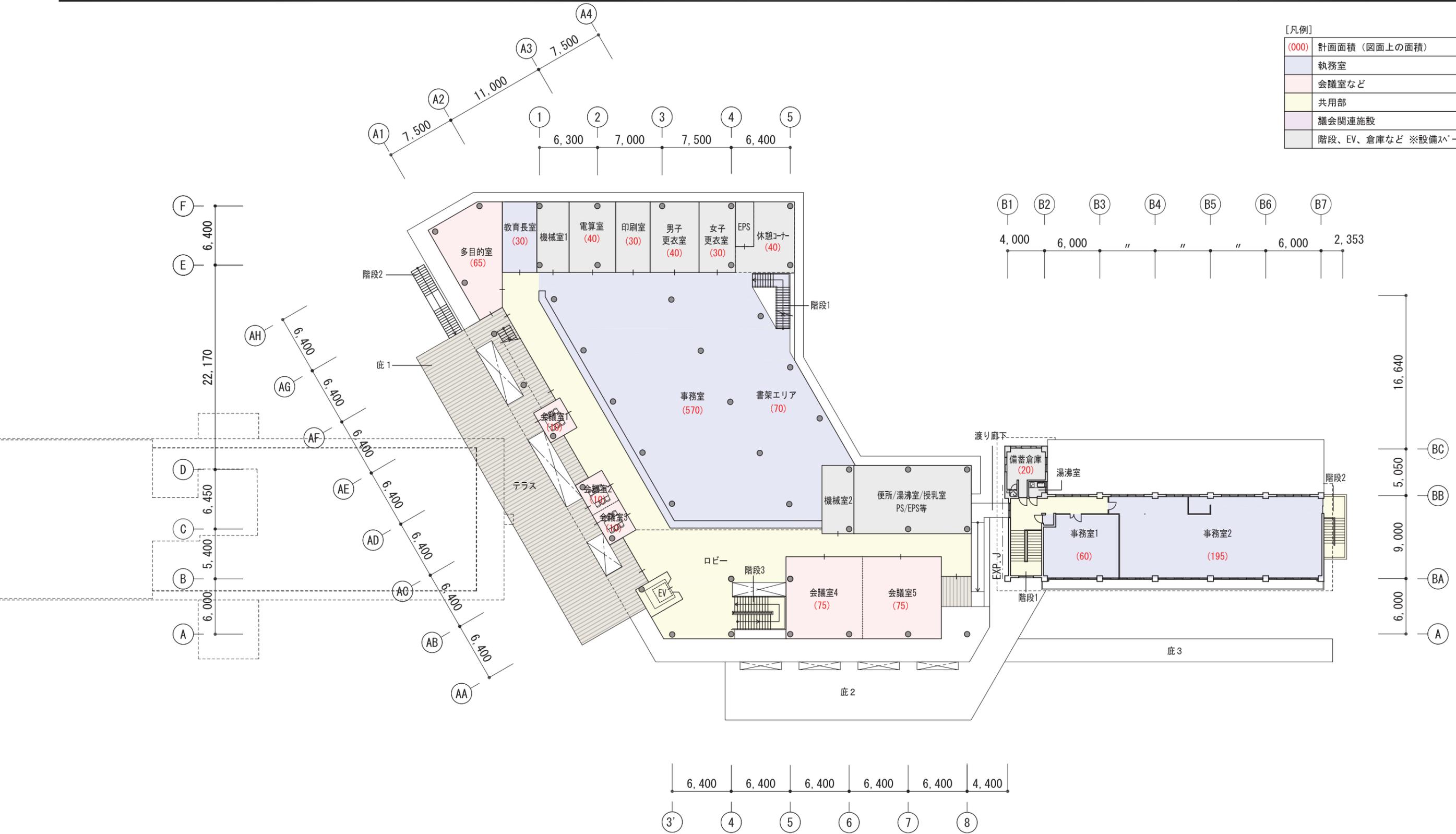
(000)	計画面積 (図面上の面積)
■	執務室
■	会議室など
■	共用部
■	議会関連施設
■	階段、EV、倉庫など ※設備スペース調整中



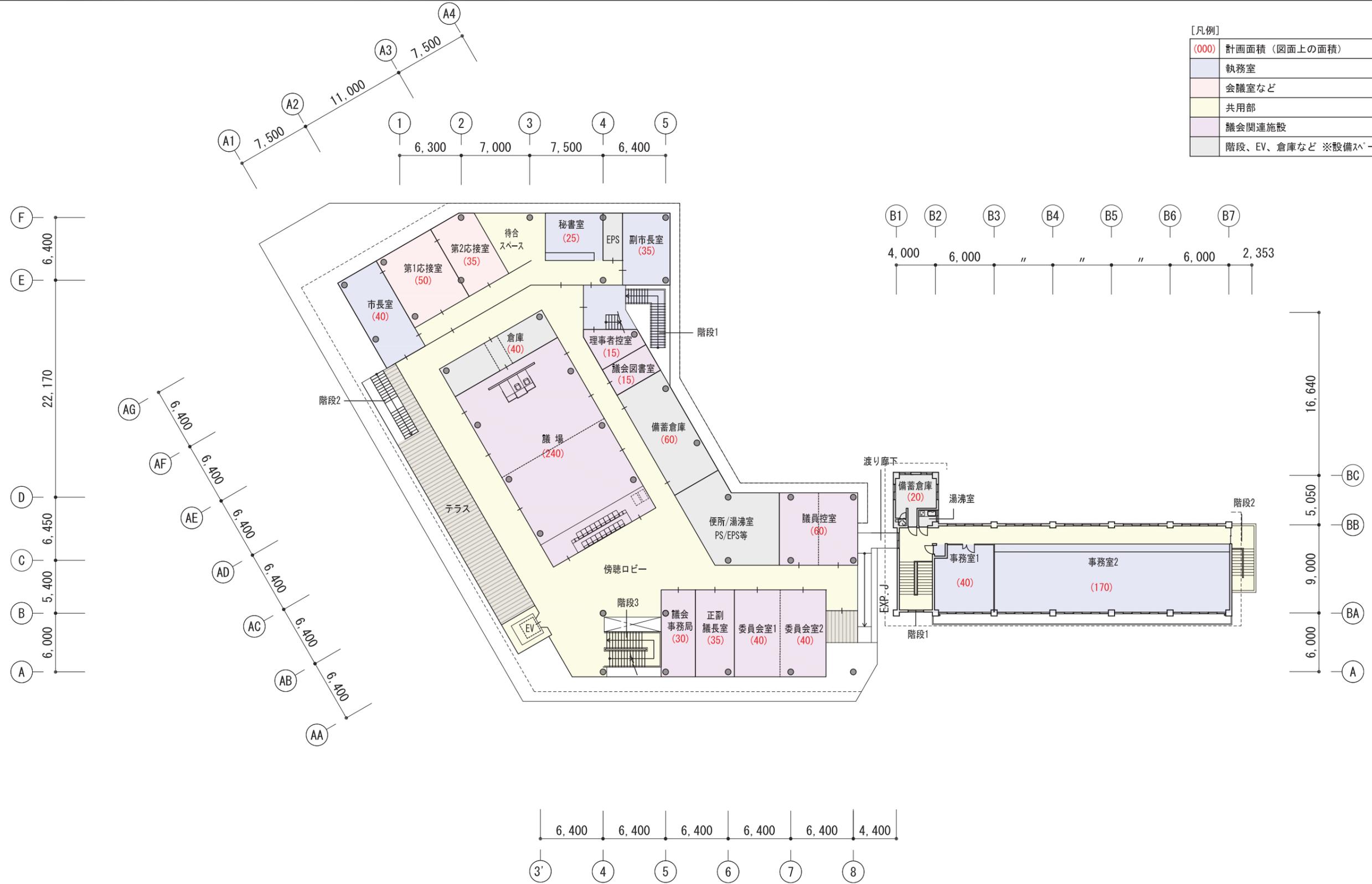
1階 平面図 (窓口・市民サービスフロア)

[凡例]

(000)	計画面積 (図面上の面積)
■	執務室
■	会議室など
■	共用部
■	議会関連施設
■	階段、EV、倉庫など ※設備スペース調整中



2階 平面図 (執務・福利厚生フロア)



3階 平面図 (特別職室・議会フロア)